

■平成30年 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。



医療法人社団 千徳会  
理事長 成川 守彦

平成30年の輝かしい新年を皆様と共に恙なく迎えることが出来たのも、偏に皆様のご支援ご厚情の賜と、衷心より御礼を申し上げます。

「維新」という言葉は、皆様も馴染みがあると思います。「明治維新」「\*\*\*維新の会」など…。東洋古典の名著『大学』に「周(しゅう)は旧邦(きゅうほう)なりといえども、その命(めい)維(こ)れ新たなり」とあり、「周は千年以上も続いた国だが、その生命は清新で古びることがない」という意味であります。「維」は強調のニュアンスをもった指示代名詞ですが、日本ではこれを生かし「維新」という言葉を創りました。

伊與田(いよだ) 覺(さとる)氏は『己を修め人を治める道』において、「維新は革命とは違う。革命は根本からやりかえること、維新はだんだんに日々変化していくこと。いわば革命は外科手術、維新は内服薬療法で徐々に治していくこと」と説明しています。

『大学』は先の一文のあと、「この故に、君子はその極を用いざる所なし」。即ち、「国を清新にするためにはリーダーが停滞せず、常に最善の道、最上の力を用いなければならない」と言っています。現代の国のリーダーもこの心得を持っていただきたいと思いますが、医療においても、リーダーはこの心得を持たねばならないと思います。

「国や団体・組織を維新し、繁栄向上に導いていくのは大事だが、さらに大事は**自己を維新すること**だ」と安岡正篤師は述べています。

新年を迎え、心新たに、**自己を維新**する心意気で、日々勉学に励みたいと思います。

「一生勉強 一生青春」 相田みつを

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

引用:致知2017年8月「特集 維新する」



新年あけましておめでとうございます。  
謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。



医療法人社団 千徳会  
院長 成川 暢彦

昨年、厚生労働省から発表された報告によると、100歳以上を超える高齢者は、全国で6万7824人にのぼるそうです。ちなみに、平成元年の100歳を超える高齢者は3078人でした。この30年間で20倍を超える伸びとなっています。さらに、今から20年後には、100歳以上の高齢者は現在の4倍に近い25万6000人になると推定しています。今後益々、少子高齢化社会が進み、医療・看護・介護の需要は増加するものと考えます。

当院は、今年も慢性期医療を中心に地域の皆様とともに明るく健康な未来を目指して取り組んでまいります。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年元旦

新任医師紹介

副院長 兼  
内視鏡センター長



のぐち まさひこ  
野口 正彦 医師

〈プロフィール〉

昭和46年 3月 和歌山県立医科大学卒業  
同年 4月 大阪大学医学部付属病院第一内科入局  
昭和53年 5月 関西労災病院内科勤務  
平成10年 7月 大阪船員保険病院内科勤務  
平成23年 1月 日比記念病院(現日進会病院)勤務  
平成27年 7月 日進会病院理事長兼院長に就任  
平成29年11月 桜ヶ丘病院副院長兼内視鏡センター長に就任  
現在に至る

昭和46年に和医大卒業後、阪大病院第一内科に入局し消化器内科を研修、いくつかの病院で消化器内科医として勤務しました。7年前に那智勝浦町の日進会病院に移り、2年前より理事長兼院長を務めました。

この度縁あって、昨年11月より桜ヶ丘病院で副院長兼内視鏡センター長としてお世話になっています。卒後40数年間は上部内視鏡中心に研究・研修し、紀南地区の医療事情については種々経験して参りましたので、当地区での医療に関してもある程度は理解していると思います。

しかし、高齢になり、電子カルテの取扱いに悪戦苦闘中です。多くの職員の方々から手助けを受けながら、円滑な診療が出来るよう努力していきますので、これからもよろしくお願ひ申し上げます。

認知症サポート、当院の取り組み紹介

当院では現在、診療体制の充実や疾患に対するサポート力の強化に向け様々な取り組みを行っています。そこで今回は、現在急激に増加している認知症患者さんへのサポートに対する取り組みを紹介します。

まず、外来では『もの忘れ外来』として脳神経外科医と神経内科医のどちらかが週4日で診療を行い、認知症の診断・治療がスムーズに行えるような体制を取っています。また、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族が暮らしやすい環境づくりを応援する「認知症サポーター養成講座」を行い、現在、当院やさくらグループの職員70人余りが認知症サポーターとして登録されています。

昨年10月からは認知症の予防を目的としたカフェ『さくら喫茶』を開催し、認知症に関する色々な情報をお届けしたり、住民のみなさんの交流の場となるような活動も始めています。

今後も『さくら喫茶』は月1回の開催を予定しています。開催日時などは院内ポスターや当院ホームページ・Facebookなどで随時お知らせしていきますので、ぜひお気軽にご参加下さい。

認知症予防カフェ「さくら喫茶」



認知症サポーター養成講座



●第25回 日本慢性期医療学会 in 仙台(平成29年10月19日・20日 於:仙台国際センター)

テーマ:高齢者における減薬の推進に向けた取り組み(第一報) ~医師の意識向上を目指して~

発表者:薬剤師 湯瀬 敦

テーマ:抗生剤適正使用を目指したチェックシート導入における効果

発表者:臨床検査技師 山中 拓哉



●第22回 和歌山県病院協会学術大会  
(平成29年11月26日 於:ホテルアパローム紀の国)

テーマ:「洗髪時の予洗いに着目して~頭皮トラブル患者を通して~」

発表者:5階病棟 介護福祉士 古川 浩美